

夢に向かって挑戦する子ども

どんなことをしているの？ 相原小学校ではこんなスタートカリキュラムに取り組んでいました！①

教室をのぞいてみると…

折り紙をしている子、塗り絵をしている子、積み木をしている子、様々です。朝の会が始まるまで、“のんびりタイム”を設けているとのこと。

幼児期の生活に近い活動を取り入れることで、楽しい気持ちで1日の学校生活のスタートがきれいですね。

?? 教室のあちこちに…

目で見える



登校してからの活動の手順や時間が、文字や絵、写真などで提示されることで、見通しをもち、安心して活動することができます。時間を意識した行動にもつながります。

友達ができる



自分でできる

自由に遊べる時間や場所を用意することで、自分で活動を選び、自分から取り組んでいきます。自ら学びに向かっていく意欲も湧いてきます。また、集団での活動が苦手な子にとっても、落ち着いて活動することができる時間となります。

「このマークはなあに？」子どもたちに聞いてみると、「おもちゃおすすめマークだよ！」とのこと。絵本・パズル・塗り絵…子どもたちはここから選んで活動していたのですね。

園と同じような生活空間をつくることで、友達との距離もぐんと縮まります。色や形に着目し、並べたり、積んだり、友達と一緒に様々な遊び方を楽しんでいました。